






平成 19 年度 主催講座一覧


講座番号	No.1、3、5	
区分	工作・クラフト	
講座名	シュロバツタづくり	
日時	6月9日(土)、16日(土)、17日(日) 10:00～15:00	
講師	池田 賀津子(市民ボランティア)	
対象	親子	
参加人数	26名	
ねらい	自然素材を活用したクラフトを通して、子どもの感性を育て、自然への関心を高める	
概要	葉っぱを使ったネイチャークラフト	
実施内容	シュロの葉を使ったバツタづくりのクラフトを行った。タラヨウの葉にメッセージを書き、台にした。	
参加者の反応	自然の素材を使ったクラフトに子どもだけでなく大人も楽しんでた。タラヨウの葉に文字が書けることに驚いている家族もいた。	
材料・道具	シュロの葉、タラヨウの葉	
備考		


講座番号	No.2	
区分	ワークショップ	
講座名	廃油石鹸	
日時	6月10日(日)10:00～15:00	
講師	谷口 陽子(eco-T インタープリター)	
対象	親子	
参加人数	9名	
ねらい	不要になったものの有効活用法について学ぶ	
概要	廃食油の有効活用	
実施内容	家庭から出た廃食油を使い、石けんをつくった。作った石けんは参加者に配布した。	
参加者の反応	廃油からせっけんができることに子どもたちは驚いている様子だった。つくり方を聞いている参加者もいた。	
材料・道具	古くなった植物油、苛性ソーダ、容器	
備考		


講座番号	No.4	
区分	ワークショップ	
講座名	ふるしき講座	
日時	6月16日(土)10:00~15:00	
講師	長嶋 一枝(eco-T インタープリター)	
対象	子どもから大人まで	
参加人数	11名	
ねらい	ふるしきの体験を通して、レジ袋について見直す	
概要	ふるしきの体験	
実施内容	ふるしきでバッグをつくる方法や本やピンなどの包み方を実演し、参加者に体験をしてもらった。贈り物の場合は、ふるしきで包んだほうが喜ばれそうだという声も聞かれた。	
参加者の反応	ふるしきを使っていた頃のことを思い返し、昔と今のくらしの違いについて話が弾んだ。	
材料・道具	ふるしき、包むもの	
備考		

講座番号	No.6, 8	
区分	エコクッキング	
講座名	おからクッキーづくり・試食会	
日時	7月7日(土) 9:30~12:00, 12:30~15:00	
講師	エコクッキングWG	
対象	子どもから大人まで	
参加人数	30名	
ねらい	豆腐を作るときに出るおからを有効利用することで、ごみをださない料理の仕方を伝える	
概要	おからクッキーづくりと試食会	
実施内容	あらかじめ用意しておいた生地から型をとり、焼いて食べる。おからについてやエコクッキングについてのお話をした。	
参加者の反応	自分でつくったクッキーを食べることが参加者に大変好評だった。エコクッキングについてのお話を聞いて感心する参加者もいた。	
材料・道具	おから、薄力粉、卵、砂糖、サラダ油	
備考	七夕企画の一環として実施	

講座番号	No.7	
区分	工作・クラフト	
講座名	竹のはしづくり	
日時	7月7日(土)10:00~15:00 随時	
講師	eco-T事務局	
対象	子どもから大人まで	
参加人数	15名	
ねらい	伝統的な自然素材の有効活用法について学ぶ	
概要	竹を使ったクラフト	
実施内容	あらかじめ棒状に削っておいた竹をやすりで形を整え、箸をつくった。	
参加者の反応	割り箸のような使い捨てのものではない、手づくりの箸に対する思い入れが生まれ、自分でつくった箸でご飯を食べてみたいという声が、多数聞かれた。	
材料・道具	竹、やすり、マジック	
備考	七夕企画の一環として実施	


講座番号	No.9、10	
区分	講義	
講座名	山のめぐみ・水のめぐみ	
日時	8月1日(水) 10:00~12:00、13:00~15:00	
講師	青山 克巳(eco-T インタープリター)	
対象	親子	
参加人数	8名	
ねらい	山と水とのつながりを学ぶ、山村の山の現状、保全の取り組みについて学ぶ	
概要	山と水のお話	
実施内容	豊田の山林の状況についてのお話、間伐材を利用した木工製品づくりの取組みの紹介など。	
参加者の反応	豊田の山がそんなに荒れているとは知らなかった、重大な問題だがきちんと知られていない、といった声が聞かれた。	
材料・道具	ビデオ	
備考	夏休み企画 水曜・日曜エコ教室	

講座番号	No.11、15、16	
区分	ワークショップ	
講座名	未来の暮らしを描こう	
日時	8月5日(日)、8日(水) 10:00～12:00、13:00～15:00 (5日は午前のみ)	
講師	南谷 五郎(eco-T インタープリター)	
対象	親子	
参加人数	8名	
ねらい	環境問題における現代と未来のつながりを考える	
概要	未来の暮らしを考える	
実施内容	20年後の交通手段や家はどうなっているか、自分はどんな生活をしているかなどについてイメージを膨らませた上で、それを絵に描いて発表した。	
参加者の反応	未来に対するイメージが人によってずいぶん違うことを改めて知った、といった声が聞かれた。	
材料・道具	色鉛筆、紙	
備考	夏休み企画 水曜・日曜エコ教室	


講座番号	No.12	
区分	エコクッキング	
講座名	みんなでエコクッキング ～すいとんづくり～	
日時	8月5日(日)10:00～13:00	
講師	エコクッキング WG	
対象	子どもから大人まで	
参加人数	18名	
ねらい	戦前、戦時中に食されていたすいとんをつくってみることで、昔の食生活、食べ物に対する姿勢を学ぶ	
概要	つくって学ぶ、環境にやさしいクッキング	
実施内容	すいとんをみんなで作り、昔すいとんを食べた経験のある人(参加者)の話を聞いた。また、ワーキングメンバーからせっけんと合成洗剤の違い、せっけんの良さについてのお話をした。	
参加者の反応	参加者が大人中心だったこともあって、スムーズに調理ができ、せっけんの話も真剣に聞いている様子が見えた。	
材料・道具	小麦粉、野菜など	
備考		




講座番号	No.13、18、23、28	
区分	グリーンマップ	
講座名	グリーンマップを作ってみよう	
日時	8月5日(日)、12日(日)、19日(日)、26日(日)10:30~12:00	
講師	グリーンマップWG	
対象	親子	
参加人数	17名	
ねらい	グリーンマップづくりを通して、生きものや自然など地域が持つ大切な資源を発見する力を身につける	
概要	eco-T 周辺のグリーンマップづくり	
実施内容	eco-T 周辺をフィールドにグリーンマップづくりを行った。	
参加者の反応	子どもの参加者が多かった。田園地帯に棲む生きものに触れ合うことができ、満足そうだった。講座に参加した親子が、夏休みの自由研究で家の周辺のグリーンマップづくりに挑戦した。	
材料・道具	地図、アイコンシール	
備考	夏休み企画として、8月毎週日曜実施	


講座番号	No.14、25、26	
区分	ワークショップ	
講座名	うちのカレーは外国育ち？	
日時	8月5日(日)、22日(水) 10:00~12:00、13:00~15:00 (5日は午後のみ)	
講師	山口 重春(eco-T インタープリター)	
対象	親子	
参加人数	17名	
ねらい	食料自給率やフードマイレージについて学ぶ	
概要	食材がどこから来ているか考える	
実施内容	各自で好きなカレーを考えて材料を書き出し、その材料の自給率や産地を調べ、環境への負荷を考える。	
参加者の反応	カレーのルーのような加工された食材については、ふだん自給率を意識していないかった、といった声が聞かれた。	
材料・道具	地球儀	
備考	夏休み企画 水曜・日曜エコ教室	


講座番号	No.17, 19	
区分	工作・クラフト	
講座名	竹で水鉄砲をつくる	
日時	8月12日(日) 10:00～12:00、13:00～15:00	
講師	板倉 三枝子(eco-T インタープリター)	
対象	親子	
参加人数	23名	
ねらい	伝統的な自然素材の有効活用法について学ぶ	
概要	竹を使ったクラフト	
実施内容	適度な長さに切っておいた竹を使って、水が漏れないように古布を巻き、水鉄砲をつくり、3階のウッドデッキで水を飛ばした。	
参加者の反応	親子で大騒ぎをしながらウッドデッキで楽しそうに遊んでいた。暑い日だったため、水に触るのが気持ちよさそうだった。	
材料・道具	竹、古タオル、使用済みストッキング、たこ糸	
備考	夏休み企画 水曜・日曜エコ教室	

講座番号	No.20, 21	
区分	工作・クラフト	
講座名	牛乳パックでつくる ミニ・ティッシュボックス	
日時	8月15日(水) 10:00～12:00、13:00～15:00	
講師	恩田 百合子(eco-T インタープリター)	
対象	親子	
参加人数	20名	
ねらい	不要になった容器包装の有効活用法について学ぶ	
概要	牛乳パックを使ったクラフト	
実施内容	型通りに切って用意しておいた和紙を牛乳パックに貼り付け、ポケットティッシュ用の箱をつかった。のりを塗る際に、とっておいたアイスの棒を使用するなど、何でも使えることを示した。	
参加者の反応	こんなにすてきな箱ができてうれしい、友達にもプレゼントしたいといった声が聞かれた。	
材料・道具	牛乳パック、和紙、でんぷんのり、木工用ボンド、カッター、工作マット、ポケットティッシュ	
備考	夏休み企画 水曜・日曜エコ教室	


講座番号	No.22、24	
区分	工作・クラフト	
講座名	動物おりがみ付き絵はがきづくり	
日時	8月19日(日) 10:00～12:00、13:00～15:00	
講師	恩田 百合子(eco-T インタープリター)	
対象	親子	
参加人数	27名	
ねらい	心をこめて、絵はがきをつくる	
概要	手づくりの絵はがきづくり	
実施内容	折り紙で金魚やせみといった夏らしい動物をつくってはがきに貼り、メッセージを添えて絵はがきにした。	
参加者の反応	夏の贈り物ができてよかった、おじいちゃんに渡します、といった声が聞かれた。	
材料・道具	折り紙、はがき、色鉛筆	
備考	夏休み企画 水曜・日曜エコ教室	


講座番号	No.27、29	
区分	もった博士	
講座名	もった博士の「親子かがく倶楽部」 ～二酸化炭素って何？アイスクリームをつくって考えよう～	
日時	8月26日(日) 10:00～12:00、13:00～15:00	
講師	井藤 伸比古(市民ボランティア)	
対象	親子	
参加人数	68名	
ねらい	二酸化炭素の性質について実験を通して学ぶ	
概要	二酸化炭素を使った実験	
実施内容	ドライアイスが気化する様子を拡大鏡でのぞいたり、ドライアイスで風船をふくらませたり、二酸化炭素でろうそくの炎を消すなどさまざまな実験をした後で、牛乳を冷やしてアイスクリームをつくった。	
参加者の反応	次々に展開される実験の数々に引きこまれ、大人も子どもも夢中になっていた。アイスクリームづくりでは、とくに子どもたちが一生懸命がんばっていた。楽しい実験を通して、二酸化炭素の性質について体験的に理解できたようだった。	
材料・道具	ドライアイス、拡大鏡、かなづち、ふるい、フィルムケース、ゴム風船、紙コップ、ろうそく、牛乳、砂糖、ボール、はし	
備考		


講座番号	No.30, 31	
区分	工作・クラフト	
講座名	牛乳パックでつくる飛び出すおもちゃ	
日時	8月29日(水) 10:00～12:00、13:00～15:00	
講師	eco-T事務局	
対象	親子	
参加人数	16名	
ねらい	不要になった容器包装の有効活用法について学ぶ	
概要	牛乳パックを使ったクラフト	
実施内容	輪切りにした牛乳パックに切れ目を入れて輪ゴムを巻き、それをセロテープでつなげてへびをつくった。輪ゴムを伸ばすようにセットしてから手を離すと、子どもたちの背よりも高く飛び出した。	
参加者の反応	何度も夢中になって遊び続ける子どもたちが多かった。家に帰ったらお父さんを驚かせようといった声が聞かれた。	
材料・道具	牛乳パック、輪ゴム、セロテープ、マジック	
備考	夏休み企画 水曜・日曜エコ教室	


講座番号	No.32	
区分	エコクッキング	
講座名	みんなでエコクッキング ～おからハンバーグに挑戦～	
日時	9月16日(日)10:00～13:00	
講師	エコクッキングWG	
対象	子どもから大人まで	
参加人数	21名	
ねらい	おからをつかった料理の仕方を学ぶ 資源を無駄にしない後片付けのしかたを知る	
概要	つくって学ぶ、環境にやさしいクッキング。	
実施内容	おからを利用したハンバーグをつくった。資源を無駄にしない後片付けを参加者と実践した。	
参加者の反応	小学生とその親の参加が目立った。ある小学生は資源をむだにしない後片付けを知って、家では食べない嫌いなものも、おいしく食べることができた。	
材料・道具	おから、あいびき肉、玉ねぎ、牛乳、バター、卵など	
備考		





講座番号	No.33	
区分	工作・クラフト	
講座名	竹で「おはし」をつくろう!	
日時	9月16日(日)10:00~11:30	
講師	eco-T事務局	
対象	親子	
参加人数	13名	
ねらい	伝統的な自然素材の有効活用法について学ぶ	
概要	竹を使ったクラフト	
実施内容	あらかじめ棒状に削っておいた竹をやすりで形を整え、箸をつくった。また、あらかじめ型どおりに切っておいた牛乳パックと和紙を折って貼りあわせ、箸袋を作った。作ったはしで豆つかみ競争をした。	
参加者の反応	ふだん使っているはしが、実はとてもよくできていることに気づいた、といった声が聞かれた。豆つかみ競争は大いに盛り上がった。	
材料・道具	竹、やすり、牛乳パック、和紙、マジック、大豆	
備考		

講座番号	No.34	
区分	ワークショップ	
講座名	おしゃれなエコに挑戦 ～ふるしきの包み方をマスターしよう!～	
日時	10月11日(木)9:30~11:30	
講師	長嶋 一枝(eco-T インタープリター)	
対象	主婦	
参加人数	8名	
ねらい	ふるしきの体験を通して、レジ袋・容器包装について見直す	
概要	ふるしきの体験	
実施内容	ふるしきの歴史を紹介した後、バッグをつくる方法や本やピンなどの包み方など、ふるしきの活用方法を実演を通して紹介し、参加者に体験をしてもらった。	
参加者の反応	施設見学の団体の方が途中から参加し、熱心に包み方を覚えた。レジ袋にはない、ふるしきならではの魅力を実感した様子だった。	
材料・道具	ふるしき、包むもの	
備考		

講座番号	No.35	
区分	ワークショップ	
講座名	楽しくスマートライフ!	
日時	10月11日(木)13:30~15:30	
講師	松浦 貴子(eco-T インタープリター)	
対象	主婦	
参加人数	3名	
ねらい	普段の買い物を見つめ直す	
概要	エコな暮らしを考える	
実施内容	家電製品の普及率の移り変わりを見ながら昔と今の生活を比べ、これからの時代の暮らしをみんなで話し合った。	
参加者の反応	昔と今のライフスタイルの違いについて話し合う中で、自分たちが必要だと思っているモノは、本当に必要なのか、ひょっとしたら買わされているのではないか、モノの買い方が変わればエコでスマートな暮らしができるのではないかという意見が出た。	
材料・道具		
備考		

講座番号	No.36	
区分	講義	
講座名	生ごみから考える日本の「食」事情	
日時	10月20日(土)13:30~16:30	
講師	広川 雄三(環境カウンセラー)	
対象	中学生以上	
参加人数	17名	
ねらい	食に関わる問題について学ぶ、生ごみをめぐる問題とリサイクル方法について学ぶ	
概要	日本の未来の「食」事情と生ごみリサイクルについての講義	
実施内容	食と生ごみをテーマに、私たちの暮らしを考える講座を実施した。日本の食料の多くは輸入品であり、他国と比較しても低い自給率となっているが、食料の問題は、資源枯渇や地球温暖化など様々な問題と関係しており、日本の食糧事情が不安定な土台の元に成り立っていることを改めて認識した。また、生ごみリサイクルの現状や取り組みを紹介した。家庭で取り組むときの方法や注意点など、講師の実体験を織り交ぜながらお話をした。	
参加者の反応	日本の食が不安定な土台の上で成り立っていること食べ残しをしない、生ごみ堆肥化に挑戦したいなど、具体的な行動に取り組みたいという声も聞かれた。	
材料・道具		
備考		


講座番号	No.37, 38	
区分	もった博士	
講座名	もった博士の「親子かがく倶楽部」 ～もしも原子が見えたなら～	
日時	10月21日(日) 10:00～11:30、13:30～15:00	
講師	井藤 伸比古(市民ボランティア)	
対象	親子	
参加人数	19名	
ねらい	空気に含まれる成分について学ぶ	
概要	原子模型を使って空気について考える	
実施内容	原子の模型を組み立てながら、酸素や二酸化炭素など全ての物質が原子からできていること、その組み合わせによって性質が変わることを学んだ。プラスチック類がたくさん炭素原子や水素原子からできていること、塩化ビニルなど塩素が入ったプラスチックを燃やすとダイオキシンができることも模型を通して視覚的に学んだ。	
参加者の反応	模型を使うことで、空気中に存在する物質について視覚的に理解でき、二酸化炭素やダイオキシンがどうして発生するか、というメカニズムも理解しやすかったようだ。	
材料・道具		
備考		


講座番号	No.39	
区分	ジュニアインタープリター	
講座名	ジュニアインタープリター講座 ～キミもインタープリターになろう!～	
日時	10月27日(土)10:00～16:00	
講師	eco-T事務局	
対象	小学4年生～中学1年生	
参加人数	5名	
ねらい	ごみの分別の重要性を伝えられる子どもを育成する	
概要	環境問題に対して取り組む子どもの育成	
実施内容	クリーンセンターやプラスチック容器包装の資源化施設の見学を通して、家庭から出たごみの行方、ごみを減らすことと分別の大切さについて理解を深めた。eco-Tの「分別ゲーム」のプログラムを体験から分別の方法を学び、最後に家族の前でプログラムを実施した。施設の見学で学んだことも発表し、家族にごみを減らすこと、分別の大切さを訴えた。	
参加者の反応	工場で見た現場の様子がとても印象に残ったようで、その後の発表にもその影響が現れていた。子どもたちが熱心に発表する姿は保護者にも影響を与え「自分たちもごみのことについて考えなければと感じた」という声が聞かれた。	
材料・道具		
備考		


講座番号	No.40	
区分	工作・クラフト	
講座名	新聞紙で、コサージュづくり	
日時	11月3日(土・祝)10:00~12:00	
講師	恩田 百合子(eco-T インタープリター)	
対象	親子	
参加人数	6名	
ねらい	不要になったものの有効活用法について学ぶ	
概要	新聞紙を使ったクラフト	
実施内容	新聞紙のカラー面を使って、花の形をしたコサージュを作った。	
参加者の反応	新聞紙から作れることに驚いた人が多かった。プレゼント用にもう一つ作りたい、といった声が聞かれた。これからは新聞紙のカラー面を見る目が変わりそう、という声もあった。	
材料・道具	新聞紙、ピン	
備考		

講座番号	No.41	
区分	工作・クラフト	
講座名	牛乳パックで、ペン立てづくり	
日時	11月10日(土)10:00~12:00	
講師	谷口 陽子(eco-T インタープリター)	
対象	親子	
参加人数	2名	
ねらい	不要になった容器包装の有効活用法について学ぶ	
概要	牛乳パックを使ったクラフト	
実施内容	牛乳パックを使って、家で使えるペンたてを作った。	
参加者の反応	手づくりのペンたてが気に入ったようで大事に使ってもらえそうな様子だった。	
材料・道具	牛乳パック	
備考		




講座番号	No.42	
区分	エコクッキング	
講座名	みんなでエコクッキング ～さつまいものおやつ～	
日時	11月17日(土)13:30～16:00	
講師	エコクッキング WG	
対象	子どもから大人まで	
参加人数	15名	
ねらい	地産地消の旬の食材(さつまいも)を使うことの良さ・大切さを学ぶ	
概要	つくって学ぶ、環境にやさしいクッキング。	
実施内容	地元の畑で採れたさつまいもを使って愛知県特有の和菓子、鬼まんじゅうを作った。子ども自身が考えながら調理をすることで、無駄を少なくする工夫を発見してもらえた。	
参加者の反応	子どもが主体となって調理に取り組めた。	
材料・道具	さつまいも、小麦粉、牛乳、砂糖など	
備考		


講座番号	No.43	
区分	エコクッキング	
講座名	みんなでエコクッキング ～さつまいもコロッケとお漬物～	
日時	11月24日(土)10:00～13:00	
講師	エコクッキング WG	
対象	子どもから大人まで	
参加人数	20名	
ねらい	地産地消の旬の食材(さつまいも)を使うことの良さ・大切さを学ぶ	
概要	つくって学ぶ、環境にやさしいクッキング	
実施内容	地元の畑で採れたさつまいもを使ってさつまいものコロッケを作った。さつまいもの皮は捨てずに厚くむいて皮をスティックにして食べた。	
参加者の反応	さつまいものコロッケ・スティックは味がよく、家でも作ってみたいという声があった。地産地消の良さ、重要さを認識してもらえた。	
材料・道具	さつまいも、無塩バター、小麦粉、卵、パン粉、サラダ油など	
備考		


講座番号	No.44、45	
区分	ワークショップ	
講座名	くらしと電気と温暖化	
日時	11月25日(日) 10:00～12:00、13:30～15:30	
講師	田上 治(eco-T インタープリター) 長嶋 一枝(eco-T インタープリター)	
対象	親子	
参加人数	21名	
ねらい	温暖化の仕組み、家庭で取り組める省エネについて学ぶ	
概要	エネルギーと地球温暖化についての実験教室	
実施内容	火力発電の仕組みをキットを使って学び、計測器を使ってモノを燃やすと二酸化炭素が発生することを調べた。発電機を使い発電の仕組みを学んだ後、白熱球と蛍光灯型の電球の消費電力を比較した。最後にエコ宣言をしてもらった。	
参加者の反応	物を燃やすと二酸化炭素が発生すること、人間の吐く息にも二酸化炭素が含まれていることに子どもたちは驚いていた。子どもだけでなく親もエコ宣言をすることで、家族みんなで省エネに取り組もうという気持ちが強まったようだった。	
材料・道具		
備考		

講座番号	No.46、47、50、51、52、56、57、58、59、60、61、63	
区分	工作・クラフト	
講座名	キャンドルづくり(廃油)	
日時	12月1日(土)、8日(土)、9日(日)、15日(土)、16日(日)、22日(土) 10:00～11:30、14:00～15:30	
講師	当日シフトのインタープリターが担当	
対象	親子	
参加人数	100名	
ねらい	不要になったものの有効活用法について学ぶ、キャンドルナイトについて知ってもらう	
概要	廃食油の有効活用	
実施内容	廃食油を利用したキャンドルをつくった。2個作り、そのうち1個はeco-Tのキャンドルナイト用に提供してもらった。自然界からとれる資源には限界があり、大切に使うことが重要であることを伝えた。	
参加者の反応	子連れや孫連れの参加者が多かった。じっくり時間をかけて手づくりする楽しさを実感している様子だった。子どもや孫と一緒に作ることができたことに感動された方もいた。参加者にはリピーターも多く、その後開かれた市民フォーラムの集客にも繋げることができた。	
材料・道具	廃食油、紙ひも、油凝固剤、使わなくなったクレヨン、びん容器	
備考	キャンドルナイト連動企画として、12月土曜日・日曜日実施	


講座番号	No.48、49	
区分	工作・クラフト	
講座名	キャンドルづくり(みつろう)	
日時	12月2日(日) 10:00～11:30、14:00～15:30	
講師	eco-T事務局	
対象	親子	
参加人数	42名	
ねらい	キャンドルナイトの取り組みを知ってもらい、普段の生活を見つめ直す	
概要	自然素材を使ったクラフト	
実施内容	みつろうを使った天然キャンドルをつくった。自然界からとれる資源には限界があり、大切に使うことが重要であることを伝えた。地球温暖化に対して自分たちにできることを考えてもらった。	
参加者の反応	親子で参加する方が多く、子どもだけでなく大人も自然の素材を使ったキャンドルづくりに時間を忘れて熱中していた。完成したキャンドルも大切に使用してもらえそうだった。	
材料・道具		
備考		


講座番号	No.53	
区分	工作・クラフト	
講座名	クリスマスの小物づくり	
日時	12月9日(日)10:00～12:00	
講師	恩田 百合子(eco-T インタープリター)	
対象	中学生以上	
参加人数	7名	
ねらい	不要になったものの有効活用法について、学ぶ	
概要	はぎれの布の有効活用	
実施内容	はぎれの布を使ってサンタのぬいぐるみを作った。途中、お茶やおやつを準備し、参加者にふるまった。その中でおやつに使われている材料の自給率についての話をした。	
参加者の反応	はぎれの布からでもかわいらしいぬいぐるみができたことで、参加者は手づくりの楽しさを感じている様子だった。	
材料・道具	はぎれの布やフェルト、綿、はり、糸	
備考		


講座番号	No.54	
区分	ワークショップ	
講座名	私たちの行動が世界を変える！	
日時	12月9日(日)13:30～16:30	
講師	奥村 祥子(NPO 法人アジア日本相互交流センター スタッフ)	
対象	中学生以上	
参加人数	6名	
ねらい	フィリピンで起こっている貧困や環境の問題について知り、自分たちの暮らしとのつながりや自分たちにできることについて考える	
概要	世界の貧困や環境破壊と私たちの暮らしとの関係を考える	
実施内容	フィリピンのバナナの生産現場のお話や、ごみを拾って生計を立てている人々の映像から、途上国の貧困について考え、途上国の貧困は私たちの消費行動と密接に繋がっている部分があり、決して遠い世界の問題ではないことを理解した。貧困は様々な要素によって作られているが、その連鎖を断ち切るためにはどうすればよいか、またその中で私たちにはできないことはないかを考えた。	
参加者の反応	野積みになっているごみ山のすぐ近くで生活している人たちの映像はとても印象的で、驚きを隠せないようだった。どうして貧困がなくなるのか、貧困をなくすためにはどうすればいいのか、参加者同士で意見を出し合うことで、それぞれの中で新しい気づきを得ることができた様子だった。	
材料・道具		
備考		


講座番号	No.55	
区分	ワークショップ	
講座名	アロマ体験	
日時	12月12日(水)13:00～14:00	
講師	松本 イズミ(アロマセラピスト)	
対象	大人	
参加人数	9名	
ねらい	花や果実、葉など天然素材を使ったアロマセラピーの体験を通して、植物の活用法やと植物とともに暮らすライフスタイルを学ぶ	
概要	天然素材を使ったアロマセラピーの体験	
実施内容	アロマオイルが植物由来の精油を使ったものであることを説明した後、天然の香りを楽しみながらアロマオイルを使ったマッサージを体験した。	
参加者の反応	アロマセラピーを初めて体験する方も多く、話を興味深々で聞いている姿が印象的だった。リラックスなど、天然の香りが与える効果について関心を持って聞いていた。自分でもアロマオイルをつかってみたいという声も出ていた。	
材料・道具		
備考		





講座番号	No.62	
区分	エコクッキング	
講座名	みんなでエコクッキング ～X'mas おやつピザパーティー～	
日時	12月23日(土)10:00～17:00	
講師	エコクッキング WG	
対象	子どもから大人まで	
参加人数	28名	
ねらい	片付けの仕方や、ピザの主材料である小麦の自給率について学ぶ	
概要	つくって学ぶ、環境にやさしいクッキング	
実施内容	あらかじめ用意した生地にトッピングをしてピザをつくった。その中で小麦の自給率や、重曹を使った片付けの仕方について説明した。	
参加者の反応	ファミリーでの参加もあり、後片付けの仕方について、家庭でも取り組んでもらえそうな様子だった。	
材料・道具	小麦粉、各種トッピングなど	
備考	環境市民フォーラムと同じ時間帯に実施。参加者の多くは講座終了後、キャンドルナイトに参加	

講座番号	No.64	
区分	ワークショップ	
講座名	エコパーティーによろこそ	
日時	12月23日(日)10:00～12:00	
講師	浅野 智恵美(環境カウンセラー)	
対象	親子	
参加人数	13名	
ねらい	エコなパーティーの方法を学ぶ、3Rについて考える	
概要	エコなクリスマスパーティーの体験、3Rについて学ぶ	
実施内容	使い捨ての容器を使わない、出たごみはきちんと分別するなど、エコにこだわったパーティーを実施した。エネルギーを3Rについてのクイズを交えながら、缶・ビン・ペットボトルなどの分別方法や集めた後の行方、どんなものにリサイクルされるかについて学んだ。最後にエコ宣言をしてもらい、家での実践につなげた。	
参加者の反応	話を聞くだけでなく集めた資源の行方のパネルや再生品の現物を見ることで、容器包装のリサイクルについて理解を深めることができた。エコ宣言では、お菓子の袋をちゃんと分別する、水筒を使うなど、講座で学んだことを早速実践しようとする姿勢が見て取れた。	
材料・道具		
備考		


講座番号	No.65	
区分	ワークショップ	
講座名	eco-T エコ掃除大作戦	
日時	12月27日(木)10:00～16:00	
講師	eco-T 事務局	
対象	子どもから大人まで	
参加人数	5名	
ねらい	エコな掃除の方法について学ぶ	
概要	エコな掃除を学ぶワークショップ	
実施内容	eco-T にかかわってきたみんなで感謝の気持ちをこめて、合成洗剤を使わずに施設を掃除した。また、竹の棒の先にストッキングを取り付けてはたきをつくった。	
参加者の反応	お世話になっている施設がきれいになって気持ちがいい、といった声が聞かれた。家のいらなくなったストッキングでも作ってみたいという声も聞かれた。	
材料・道具	掃除道具、竹、使用済みストッキング、針金	
備考		

講座番号	No.66	
区分	ワークショップ	
講座名	エコ百人一首で遊ぼう！	
日時	1月14日(月・祝)10:00～11:30	
講師	eco-T 事務局	
対象	中学生以上	
参加人数	10名	
ねらい	エコライフについて、自分の言葉で表現する	
概要	百人一首でエコライフを学ぶ	
実施内容	あらかじめ用意しておいた札を使ってカルタ取りをした後、一人一首ずつエコライフにちなんだ歌をつくり、作者を紹介しつつカルタ取りをした。	
参加者の反応	最初は難しいと思ったけれど、一首つくったらどんどんつくれるようになって自分でもびっくりした、楽しかった、といった声が多数聞かれた。「大切な資源守ろうよ、レジ袋やめてマイバック」といった作品が生まれ、エコライフに対する意識向上につながった。	
材料・道具	マジック、画用紙	
備考		

講座番号	No.67	
区分	エコッキング	
講座名	みんなでエコッキング ～もちを使った洋風料理&お話し会～	
日時	1月19日(土)10:00～13:00	
講師	エコッキングWG	
対象	子どもから大人まで	
参加人数	24名	
ねらい	余った食材をおいしく調理するアイデアを学ぶ	
概要	つくって学ぶ、環境にやさしいクッキング	
実施内容	正月のもちの食べ方とは一風変わった調理、カレー味雑煮、もちピザの2種類を作った。その後、講師の方に食についてのお話をいただいた。	
参加者の反応	もちがピザ生地として調理できることに驚いていた参加者もいた。正月からずっと食べ飽きて余ったもちの新しい料理法を知って、ぜひ実践してみたいとの声もあった。	
材料・道具	もち、野菜など	
備考		


講座番号	No.68	
区分	ワークショップ	
講座名	会社ゲーム道場	
日時	1月19日(土)10:00～15:00	
講師	井上淳之典 (寺子屋プロジェクト代表)	
対象	中学生以上	
参加人数	8名	
ねらい	ゲームを通して、持続可能な社会とはどんな社会で、どう行動すればそれが実現できるか、それぞれが気づきを得る	
概要	環境にやさしい社会をつくるための方法を学ぶワークショップ	
実施内容	会社ゲームというゲームを使って、持続可能な社会を作っていくために必要なことについて考えた。このゲームでは、気づきの手法を取り、参加者自身が体験を通して、気づいたことを最後に共有しあった。	
参加者の反応	ゲームでは利益を上げることができた人がいる一方で、損をした人がいて、全体が上手く利益をあげることができなかった。全体が上手くいくためには、自分のことを考えるだけでなく、その場面場面で全体の状況を見て、判断していく事が大切であることをそれぞれがゲームを通して感じているようだった。	
材料・道具		
備考		


講座番号	No.69	
区分	もった博士	
講座名	もった博士の「かがく倶楽部」 ～自由電子が見えたなら～	
日時	1月20日(日)10:00～12:00	
講師	津川 祐一(市民ボランティア)	
対象	親子	
参加人数	47名	
ねらい	実験を通して、身近にある金属について科学的に学び、その特性を理解する、金属ごみの見分け方について学ぶ	
概要	金属について実験を通して学ぶ	
実施内容	金属を調べるテスターを使った実験を行いながら、金属が電気を通すことを学んだ。金属ごみの分別方法について説明した後、家で判別できるように実験で使ったテスターをつくり、持ち帰ってもらった。	
参加者の反応	子どもたちが自発的に考える姿を見守る親の姿、自分の予想が当たって喜ぶ子どもの姿が印象的だった。講座後、身近にあるさまざまなものに金属が含まれているか調べる姿があり、家庭での分別にも活用してもらえそうだった。	
材料・道具		
備考		


講座番号	No.70	
区分	ボランティア一日体験会	
講座名	ボランティア一日体験会	
日時	2月3日(日)9:30～16:30	
講師	eco-T事務局	
対象	大人	
参加人数	9名	
ねらい	講座をつくる側にまわることで、人に伝えることの難しさや充実感を体験する	
概要	エコライフを人に伝えるボランティアの一日体験会	
実施内容	午前中は紙すきの練習をし、紙のリサイクル等について調べ学習をした。午後はeco-T主催の紙すき講座の助手として、講座参加者のの髪好きを手伝い、環境に配慮した紙を選ぶ際のポイントや分別排出時の注意点等について発表した。	
参加者の反応	発表しなきゃいけないので一生懸命がんばれた、自分がしっかり理解して自分の言葉で伝えないとうまく伝わらないと感じたという声が聞かれた。また、チームとして協力したことで参加者どうしが親しくなり、電話番号の交換などを行っていた。	
材料・道具		
備考		





講座番号	No.71	
区分	工作・クラフト	
講座名	再生紙をつくってみよう!	
日時	2月3日(日)13:30~15:30	
講師	eco-T事務局	
対象	親子	
参加人数	23名	
ねらい	紙すき体験を通して、紙を身近に感じてもらい、紙のリサイクルについて学ぶ	
概要	牛乳パックを使ったクラフト、紙のリサイクルについてのお話	
実施内容	牛乳パックを使った再生紙のはがきづくりを実施した。新聞紙や広告を混ぜたはがきもつくった。その後、古紙の分別方法を説明し、混ぜてはいけないものがあることを知ってもらうとともに、紙製品にいろんなエコマークがついていることを説明した。	
参加者の反応	子どもたちは自分で手づくりすることで紙に愛着が生まれ、大事にしようという気持ちが芽生えた様子だった。紙づくりの工程にも興味津々で「新聞紙や広告を混ぜるとどんな紙ができるんだろう」と覗き込む子どもが多かった。分別の際に混ぜてはいけない禁忌品の説明の際には保護者がひとつひとつ確認をしながら聞いていた。	
材料・道具	紙すきセット、牛乳パック、新聞紙、色紙	
備考		


講座番号	No.72	
区分	エコクッキング	
講座名	みんなでエコクッキング ～はじめてのみそづくり～	
日時	2月9日(土)10:00~13:00 14:00~17:00	
講師	エコクッキングWG	
対象	子どもから大人まで	
参加人数	26名	
ねらい	手づくりの楽しさ、地産地消の材料を使うことのよさを学ぶ	
概要	つくって学ぶ、環境にやさしいクッキング	
実施内容	家庭で実践しているエコクッキングを参加者に聞き、エコクッキングへの自発的取り組みを促した。大豆にまつわる話やみそ文化についての話をした。	
参加者の反応	家では皿洗いのとき水をこまめに止める、野菜くずを極力出さないようにしているといった実践例の声があがった。家でもみそを作りたいとの声を聞いた。今回は申し込みが多く、急遽午後の部実施を決めたが、午後の部も満員となった。	
材料・道具	大豆、麴、塩など	
備考		


講座番号	No.73	
区分	ワークショップ	
講座名	どうする地球温暖化 ～省エネのススメ～	
日時	2月10日(日)10:00～12:00	
講師	河合 志郎(eco-T インタープリター) 皆本 直樹(eco-T インタープリター)	
対象	中学生以上	
参加人数	11名	
ねらい	講義、映像、実験、ワークショップなど様々な手法を織り交ぜながら、地球温暖化の仕組みや影響について学び、その対策として家庭で取り組める省エネについて考える	
概要	地球温暖化と省エネについて考えるワークショップ	
実施内容	地球温暖化のメカニズムや原因についてパワーポイントやDVDを使って説明した。その後、ある家庭の夕食前のひとコマの映像を見ながら、家庭で取り組める省エネの取り組みについて考えた。二酸化炭素が温室効果を示すことを確認する実験も実施した。	
参加者の反応	様々なデータを用いながら時間をかけてじっくり説明することで、温暖化について理解を深めることができた様子だった。当日講座に参加していた交流館スタッフから、後日交流館でも同じ講座を実施してほしいと言う打診があった。	
材料・道具		
備考		

講座番号	No.74	
区分	ワークショップ	
講座名	交通環境クイズセミナー	
日時	2月13日(水)13:30～15:30	
講師	原 理史(環境創造研究センター)	
対象	大人	
参加人数	7名	
ねらい	自動車地球温暖化に与える影響について考え、公共交通について見つめ直す	
概要	交通と温暖化に関するクイズ、公共交通について考えるワークショップ	
実施内容	地球温暖化の仕組みや現状について学び、原因が二酸化炭素にあることを理解した。温暖化を防ぐ効果的な対策についてクイズを交えながら解説し、車の使用を減らすことが、他の省エネの取り組みと比較しても、効果的な方法であることを学んだ。家から中心市街地まで車で移動する場合と、公共交通を使った場合で、コストや二酸化炭素排出量がどれくらい違うか、シミュレーションし、公共交通を上手く使うことで二酸化炭素の排出量を減らすことができることを学んだ。	
参加者の反応	クイズやワークショップを通して車が地球温暖化に与える影響が大きいことを改めて認識し、公共交通の重要性を感じていた様子だった。	
材料・道具		
備考		


講座番号	No.75	
区分	グリーンマップ	
講座名	eco-Tでグリーンマップづくり ～冬の渡刈町編～	
日時	2月16日(土)13:30～16:00	
講師	グリーンマップWG	
対象	子どもから大人まで	
参加人数	22名	
ねらい	グリーンマップづくりを通して、歴史、文化財など、地域が持っている資源を見つめ直す	
概要	eco-T周辺のグリーンマップづくり	
実施内容	渡刈町で歴史をテーマにグリーンマップづくりを実施した。なお、渡刈町のまちづくり委員会にも協力を依頼し、当日のガイドをしていただいた。	
参加者の反応	まちの歴史を知ることができ満足そうだった。歴史だけでなく、貴重な里山や植栽鮮やかな散歩道などのまちの資源や、荒れた竹林、通学路の安全などのまちの課題についても掘り下げることができた。一緒に参加していただいた町の役員の方も、まちの課題を見つけることができ、手ごたえを感じていた様子だった。	
材料・道具		
備考		


講座番号	No.76	
区分	講義	
講座名	容器包装ごみから考える	
日時	2月23日(土)13:30～16:00	
講師	広川 雄三(環境カウンセラー)	
対象	中学生以上	
参加人数	9名	
ねらい	容器包装をめぐる問題について学び、省エネや省資源の観点から生活を見つめ直す	
概要	容器包装ごみについての講義	
実施内容	トレーやペットボトルなど、身近にある容器包装についてリサイクルの現状を学んだ。容器包装を作るためには資源が使われており、リサイクルだけでなくリユースやリデュースの取り組みが重要であることを理解した。講座内ではふるしきの包み方のデモンストレーションも行った。	
参加者の反応	容器包装にもコストや資源が使われていることを再認識し、できるだけ無駄な包装材を使わないようにしたい、と言う声や、講座で学んだことを広めて生きたいという声が聞かれた。また、講座に参加したインタープリターからは「講座の内容や進め方が参考になる」と言う声も聞かれた。	
材料・道具		
備考		


講座番号	No.77	
区分	講義および体験	
講座名	エコドライブを取り入れよう	
日時	2月26日(火)10:00-12:00	
講師	交通政策課、環境政策課 省エネ共和国	
対象	大人	
参加人数	7名	
ねらい	地球にやさしい運転の仕方、エコドライブのポイントを知り、日ごろの運転に取り入れてもらう	
概要	映像を使ったレクチャーとエコドライブ試乗体験	
実施内容	パワーポイントやDVDを使って、自動車からの二酸化炭素の排出量の多さや、エコドライブの効果についてクイズを交えて説明した。エコドライブ度を100点満点で採点する機能のついた試乗車で一人ずつ公道を運転して結果を説明し、自分の運転の特徴を把握した。	
参加者の反応	日ごろからエコドライブに取り組んでおり、判定してみたくて参加したが、ちゃんとエコドライブになっていると分かりうれしい、との声や、ふんわりアクセルが難しいとの声が聞かれた。	
材料・道具		
備考		

講座番号	No.78	
区分	エコッキング	
講座名	みんなでエコッキング ～ケーキ寿司編～	
日時	3月1日(土)10:00-13:00	
講師	エコッキングWG	
対象	子どもから大人まで	
参加人数	23名	
ねらい	旬の食材を知る、お米についての知識を深める	
概要	みんなで楽しくごはんをケーキをつくる	
実施内容	お雛さんを祝うケーキ寿司をみんなでつくった。その中でお米についての話や、同じ野菜でも路地ものと温室育ちでは環境負荷が10倍ほど違うなどの話を参加者に説明した。	
参加者の反応	旬の食材は、そうでないものにたいし環境負荷が10分の1であることに驚いている様子だった。	
材料・道具	米、しいたけ、きゅうり他トッピングなど	
備考		



講座番号	No.79	
区分	ジュニアインタープリター	
講座名	ジュニアインタープリター育成講座 ～エコライフを伝えられる人になりましょ～	
日時	3月8日(土)10:00-16:00	
講師		
対象	小学4年生～中学1年生	
参加人数	5名	
ねらい	ごみの減量や分別の必要性を多くの人に伝えられる子どもを育成する	
概要	環境問題について取り組む子どもの育成	
実施内容	クリーンセンターやプラスチック容器包装の資源化施設の見学を通して、家庭から出たごみの行方、ごみを減らすことと分別の大切さについて理解を深めた。見学で学んだことを子どもたちがまとめ、家族を対象に工場案内を行った。案内の中で、ごみ処理にコストがかかることや分別の重要性も伝えた。	
参加者の反応	実際にごみ処理の現場を見学したり、自分が家族を案内することを通して、子どもたちはごみの減量と分別の重要性を理解した様子だった。発表後、保護者の方からもごみを減らすこと、しっかり分けることの大切さを再認識したと言う声が聞かれた。また、子どもに対して「今日見たことをたくさんの人たちに伝えてほしい」と期待をかける意見が上がるなど、伝えることの重要性を保護者の方も理解していただいているようだった。	
材料・道具		
備考		

講座番号	No.80	
区分	講義	
講座名	菜の花で人の"わ"づくり	
日時	3月20日(木・祝)13:30-16:00	
講師	梅谷勝利(NPO 法人豊田・加茂菜の花エコネットワーク 会長)	
対象	中学生以上	
参加人数	18名	
ねらい	豊田市で行われている環境活動について学ぶ、活動の広げ方について学ぶ	
概要	豊田市の環境活動の紹介	
実施内容	豊田市をはじめ全国に広がる「菜の花プロジェクト」の目的や活動内容についてパワーポイントや映像を使って紹介した。菜の花プロジェクトがどうして全国的に広がったのか、いろんな人を巻き込みながら活動を広げていくためのヒントをお話から学んだ。	
参加者の反応	参加者から、菜の花プロジェクトの活動について詳しく聞くことができ、理解が深まった、という声が多く聞かれた。	
材料・道具		
備考		

講座番号	No.81	
区分	もった博士	
講座名	もった博士の「かがく倶楽部」 ～おもりのはたらきを調べよう～	
日時	3月22日(土)9:30-12:00	
講師	津川 祐一(市民ボランティア)	
参加人数	47名	
ねらい	家庭でも手に入る材料を使って工作や実験を行い、おもりのはたらきについて科学的に学ぶ	
概要	おもりを使った工作と実験	
実施内容	コルクや厚紙などの不用品を材料に使い、おきあがりこぼし、ヨット、やじろべえ等を、作り、実験を通しておもりの役割について学んだ。片付けは参加者にも協力してもらい、出たごみをしっかり分別した。	
参加者の反応	身近にある不用品を使った工作に親も子どもも夢中になっていた。親子で作った完成品は大事に持ち帰っていた。実験は、子どもたちの好奇心を刺激し、おもりの仕組みについても感覚として理解したようだった。	
材料・道具		
備考		